

国産濃厚飼料生産・利用拡大対策

【令和4年度予算概算決定額 853（887）百万円の内数】

<対策のポイント>

国産飼料の増産対策として、国産濃厚飼料（子実用とうもろこしなど）の生産拡大を図るため、新たな地域での生産体系の実証や先進地域での生産モデルの確立の取組を支援します。

<事業目標>

- 国産濃厚飼料の増産による、飼料自給率の向上（25%→34%）

<事業の内容>

1. 生産実証支援

- 国産濃厚飼料生産体系実証推進
新たに生産に取組むため、地域の实情に合わせた生産体系の実証を行うための検討会、専門家による現地指導等の取組を支援
- 国産濃厚飼料生産体系実証
新たに生産体系の実証を行う際に必要な生産機械のレンタル経費、生産・保管・調製に必要な資材、カビ毒検査キット等の導入を支援

2. 生産モデル支援

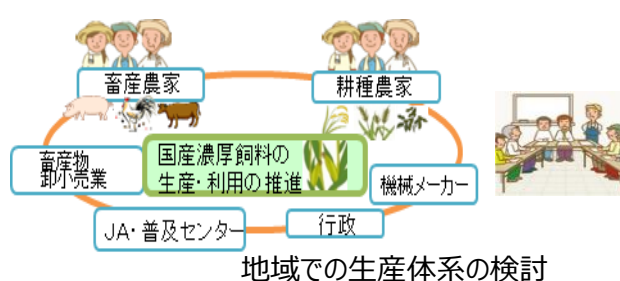
- 国産濃厚飼料生産モデル推進
地域で先進的に取り組む生産者集団による生産モデルの確立のため、現地研修会、専門家による現地指導、需給マッチング等への取組を支援
- 国産濃厚飼料生産モデル確立
生産モデルを確立するために必要な生産・調製機械の導入、乾燥調製機の改修・整備等、簡易貯蔵施設の改修・整備、カビ毒検査キット等の導入を支援

3. 子実用とうもろこしの種子確保に向けた調査

- 子実用とうもろこしの種子の確保のため、国内で種子生産が可能なほ場・品種の調査・検討等の取組を支援

<事業イメージ>

1. 生産実証支援



子実用とうもろこしの生産実証

2. 生産モデル支援



現地研修会、
現地指導



需給マッチング



生産・調整機械の
導入

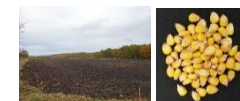


簡易保管・貯蔵
施設の改修等

3. 子実用とうもろこしの種子確保に向けた調査



検討会等の実施



現地調査、試験栽培



調査、検討結果の
取りまとめ、報告

<事業の流れ>

